

火災のおこりやすい季節に備えて秋の火災訓練



11月11日、秋季全国火災予防週間最中、錦江町消防団では火災消火訓練が行われました。当日はあいにくの雨の中、中央分団では、役場消防隊・南部消防署と合同で住宅密集地での火災を想定して、給水管から各ポンプ車等の中継して放水する訓練が実施されるなど、各分団とも機敏な動作で本番さながらの訓練が行われていました。

秋季全国火災予防運動

11月9日（金）～15日（木）の秋季全国火災予防運動の一環として、錦江町法輪保育園幼年消防クラブのみなさんが「わたしたちは火あそびをしません」の横断幕を手に、マーチング演奏と「火の用心」を大きな声で元気よく呼びかけながら沿道をパレードし、最後は役場前で「火遊びをしません」と全員で誓っていました。



岩手県大船渡市長が訪問されました

11月9日（金）岩手県大船渡市長が訪問されました。これは、本町を含む大隅半島4市5町が昨年、復興支援のために義援金や支援物資、職員派遣を行ったことに対するものです。

現在大船渡市は、水産物の水揚げ等も震災前の8割程度まで回復し、被災した方々の高台への住居移転も今年末から始まるとのことです。

市長は町民の皆さんから寄せられた心温まる支援に対し、深く感謝されていました。

「お茶一杯の日」

11月14日、錦江町茶業振興会が、錦江町特産のお茶に親しんでもらうために、錦江・田代両中学校にお茶の贈呈がありました。

大根占・田代両茶業振興会長は、それぞれに「お茶をたくさん飲んで冬の寒さやこれから始まる受験に向けて風邪を引かずに無事に乗り切って欲しい」との気持ちを込めて今回も贈られたものです。

鹿児島県では毎年11月23日を「お茶一杯の日」と定めてお茶の消費拡大を図っています。

